

第62期 決算のご報告

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで



エスケー化研株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。第62期決算のご報告に際しまして、ご挨拶を申し上げます。

今日の経済環境は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、アジアの地政学リスクや米国、欧州の政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響など、世界経済全体で多くの不安要素を抱えており、その先行きは依然として不透明な状況であります。

このような環境下、当社グループは、常に、「無から有」をモットーに、「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」をキーワードとして、国内外において総合建築塗材・新型化学建材の分野を拡大しながら、技術革新に挑み、新技術・新製品及び新市場の開発に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績におきましては、売上面では技術革新による各種製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した遮熱材、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めましたが、前期比0.5%減となりました。経常利益面では高付加価値製品の販売拡大に努めましたが、原材料の高騰や為替変動により前期比11.6%減となりました。次年度は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復が期待されますが、国内においては将来の不安から節約志向の継続が考えられ、海外においては米国の動向を中心とした海外の影響が懸念され、引き続き不透明な経営環境が続くと思われまます。一方、建築塗料業界におきましては、五輪関連施設やインバウンドによる宿泊施設等の需要が見込まれます。しかし、労務者不足に起因した人件費の高騰や工事の遅れ、原材料の高騰等が予測され、厳しい経営環境で推移するものと考えられます。その中で全社員一丸となって業績向上に努力邁進してまいります。

そして、更なる社内組織体制と国内外拠点の充実を図り、オンリーワン・ナンバーワン企業としての躍進を目指し、グローバルな総合化学塗材・建材メーカーとして、今後より一層のハイレベルな技術開発力で、日本及びアジアの国々の建築文化の創造に貢献し、大きく国内外に飛躍してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも深いご理解と、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



代表取締役社長

藤井 実広



省力化

快適

健康

安全

安心

内外の環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1[※]

※2017年NSK日本建築仕上材工業会調べ



企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、アジアの地政学リスクや米国、欧州の政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響など、世界経済全体で多くの不安要素を抱えており、その先行きは依然として不透明な状況であります。

建築塗料業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発や五輪関係の需要が進行しております。一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した遮熱材、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績といたしましては、売上高は、913億32百万円(前年同期比0.5%減)となりました。利益面におきましては、人件費、原材料費の増加等により、営業利益は、113億99百万円(同9.1%減)、経常利益は、為替変動の影響等により113億29百万円(同11.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、79億20百万円(同11.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。また、リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された遮熱塗料等の販売を行いました。売上高は829億83百万円(同1.1%減)と前連結会計年度に比べて9億9百万円の減収となりました。セグメント利益は127億47百万円(同8.5%減)

と前連結会計年度に比べて11億90百万円の減益となりました。

② 耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏の再開発事業における受注が拡大しており、売上高は65億9百万円(同10.4%増)と前連結会計年度に比べて6億12百万円の増収となりました。セグメント利益は、7億11百万円(同15.3%増)と前連結会計年度に比べて94百万円の増益となりました。

③ その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は18億39百万円(同6.7%減)と前連結会計年度に比べて1億32百万円の減収となりました。セグメント利益は1億84百万円(同35.6%減)と前連結会計年度に比べて1億1百万円の減益となりました。

企業集団が対処すべき課題

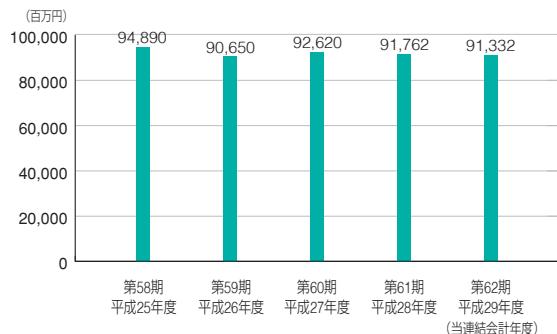
今後の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復に向かう一方、人口の減少、将来不安から節約志向の継続や米国の動向を中心とした海外の影響も懸念され、引き続き不透明な経営環境が続くと思われれます。

一方、建築塗料業界におきましては、五輪関連施設や宿泊施設等の需要が見込まれますが、労務者不足に起因した人件費の高騰や工事の遅れ、原材料の高騰等が予測され、厳しい経営環境で推移するものと考えられます。

このような状況下、当社グループといたしましては、「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」の五つのテーマの需要開発に努めると共に、「多くの顧客に利益と喜びを与え、社会に貢献することを最大の使命」とする経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

企業集団の財産及び損益の状況の推移

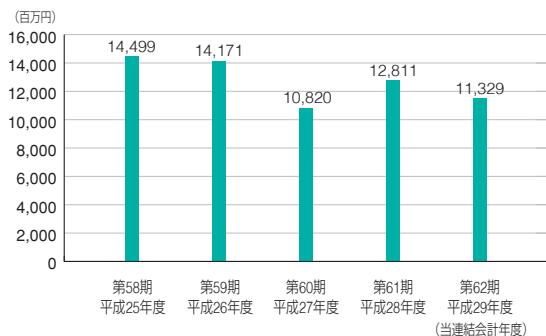
売上高



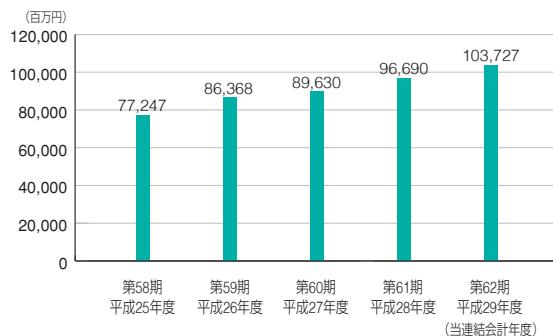
総資産



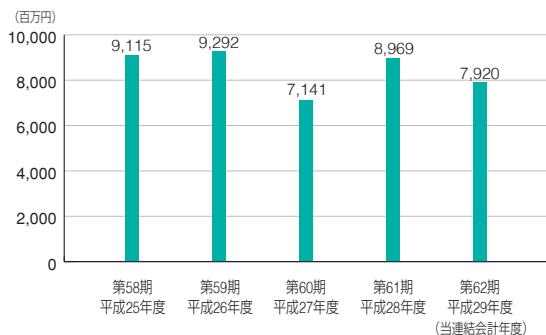
経常利益



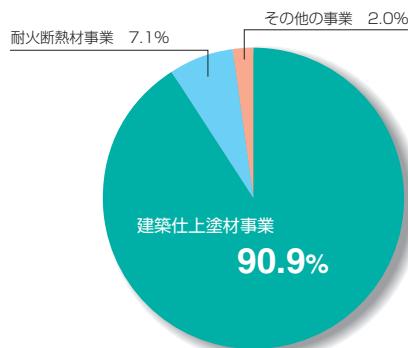
純資産



当期純利益



事業区分別売上高構成比



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	99,590	106,862
現金及び預金	70,794	78,771
受取手形及び売掛金	20,213	19,704
商品及び製品	2,199	1,933
仕掛品	1,027	1,017
未成工事支出金	177	198
原材料及び貯蔵品	4,058	4,193
繰延税金資産	730	672
その他	451	424
貸倒引当金	△ 62	△ 54
固定資産	19,025	17,930
有形固定資産	13,767	13,723
建物及び構築物	4,516	4,416
機械装置及び運搬具	721	608
土地	8,340	8,386
建設仮勘定	107	226
その他	81	85
無形固定資産	1,092	1,172
投資その他の資産	4,165	3,034
投資有価証券	14	14
繰延税金資産	256	250
退職給付に係る資産	538	565
その他	3,506	2,380
貸倒引当金	△ 150	△ 176
資産合計	118,616	124,793

科 目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	19,519	18,522
支払手形及び買掛金	5,983	5,596
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,338	5,557
未払法人税等	2,245	1,427
賞与引当金	1,545	1,455
役員賞与引当金	88	67
製品保証引当金	49	44
その他	1,237	1,342
固定負債	2,407	2,542
繰延税金負債	41	66
役員退職慰労引当金	1,109	1,133
退職給付に係る負債	71	68
その他	1,185	1,275
負債合計	21,926	21,065
(純資産の部)		
株主資本	95,732	102,663
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	99,333	106,376
自己株式	△ 9,399	△ 9,512
その他の包括利益累計額	957	1,064
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	1,016	1,106
退職給付に係る調整累計額	△ 60	△ 43
純資産合計	96,690	103,727
負債純資産合計	118,616	124,793

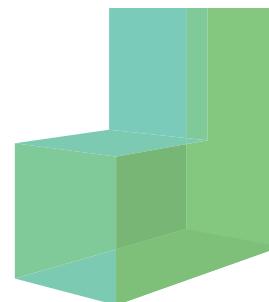
※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで		当連結会計年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	
	売上高		91,762	
売上原価		62,674		63,126
売上総利益		29,087		28,206
販売費及び一般管理費		16,545		16,806
営業利益		12,541		11,399
営業外収益				
受取利息	323		252	
受取配当金	0		0	
保険返戻金	—		173	
その他	158	482	160	587
営業外費用				
支払利息	11		9	
減損損失	130		—	
為替差損	64		638	
その他	6	213	9	657
経常利益		12,811		11,329
税金等調整前当期純利益		12,811		11,329
法人税、住民税及び事業税	3,850		3,326	
法人税等調整額	△ 8	3,841	81	3,408
当期純利益		8,969		7,920
非支配株主に帰属する当期純利益		—		—
親会社株主に帰属する当期純利益		8,969		7,920

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	99,333	△ 9,399	95,732	2	1,016	△ 60	957	96,690
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△ 877		△ 877					△ 877
親会社株主に帰属する当期純利益			7,920		7,920					7,920
自己株式の取得				△ 113	△ 113					△ 113
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額（純額）						△ 0	90	16	107	107
当連結会計年度変動額合計	—	—	7,043	△ 113	6,930	△ 0	90	16	107	7,037
当連結会計年度末残高	2,662	3,137	106,376	△ 9,512	102,663	2	1,106	△ 43	1,064	103,727

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (平成29年3月31日現在)	当事業年度 (平成30年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	86,428	90,810
現金及び預金	61,188	67,071
受取手形	6,670	6,183
売掛金	11,200	11,593
商品及び製品	1,640	1,460
仕掛品	947	953
未成工事支出金	164	141
原材料及び貯蔵品	2,173	2,367
繰延税金資産	726	632
その他	1,957	526
貸倒引当金	△ 240	△ 119
固定資産	19,321	20,365
有形固定資産	11,272	11,087
建物	3,001	2,929
構築物	71	82
機械及び装置	288	229
車両運搬具	8	10
工具器具及び備品	50	57
土地	7,754	7,754
建設仮勘定	97	22
無形固定資産	58	154
ソフトウェア	40	137
その他	17	17
投資その他の資産	7,990	9,123
投資有価証券	14	13
関係会社株式	4,091	3,713
長期貸付金	1,080	2,334
繰延税金資産	833	940
差入保証金	991	961
その他	1,613	1,739
貸倒引当金	△ 201	△ 381
投資損失引当金	△ 432	△ 198
資産合計	105,750	111,175

科 目	前事業年度 (平成29年3月31日現在)	当事業年度 (平成30年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	17,155	16,392
支払手形	1,139	1,143
買掛金	3,927	3,707
短期借入金	3,030	3,030
未払金	4,338	4,682
未払費用	517	529
未払法人税等	2,211	1,416
未払消費税等	320	251
賞与引当金	1,486	1,401
役員賞与引当金	88	67
製品保証引当金	26	26
その他	68	137
固定負債	2,391	2,481
預り保証金	1,185	1,274
退職給付引当金	96	74
役員退職慰労引当金	1,109	1,133
負債合計	19,546	18,874
(純資産の部)		
株主資本	86,201	92,299
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
資本準備金	3,137	3,137
利益剰余金	89,801	96,013
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	89,346	95,558
固定資産圧縮積立金	21	19
別途積立金	80,550	87,550
繰越利益剰余金	8,775	7,988
自己株式	△ 9,399	△ 9,512
評価・換算差額等	2	2
その他有価証券評価差額金	2	2
純資産合計	86,203	92,301
負債純資産合計	105,750	111,175

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで		当事業年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	
	売上高		78,047	
売上原価		54,063		54,554
売上総利益		23,983		23,639
販売費及び一般管理費		12,876		13,147
営業利益		11,107		10,492
営業外収益				
受取利息	230		137	
為替差益	31		—	
保険返戻金	—		173	
その他	215	476	202	513
営業外費用				
支払利息	10		9	
為替差損	—		676	
投資損失引当金繰入額	159		15	
関係会社株式評価損	160		127	
その他	4	334	4	833
経常利益		11,249		10,172
税引前当期純利益		11,249		10,172
法人税、住民税及び事業税	3,570		3,097	
法人税等調整額	△ 152	3,417	△ 13	3,083
当期純利益		7,832		7,088

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当事業年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
当 期 首 残 高	2,662	3,137	455	21	80,550	8,775	89,801	△ 9,399	86,201	2	2	86,203
当 期 変 動 額												
固定資産圧縮積立金の取崩				△ 1		1	—		—			—
別途積立金の積立					7,000	△ 7,000	—		—			—
剰余金の配当						△ 877	△ 877		△ 877			△ 877
当期純利益						7,088	7,088		7,088			7,088
自己株式の取得								△ 113	△ 113			△ 113
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）										△ 0	△ 0	△ 0
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	△ 1	7,000	△ 786	6,211	△ 113	6,098	△ 0	△ 0	6,098
当 期 末 残 高	2,662	3,137	455	19	87,550	7,988	96,013	△ 9,512	92,299	2	2	92,301

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 国内実績



菊池庁舎 増改築工事
グラニビエール木目調 SR 色



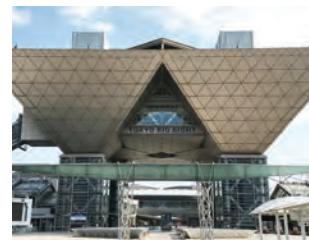
公立鳥取環境大学 実験研究棟新築工事
弾性ベルアート



主要県道山口福栄須佐線(阿武大橋)
橋梁補修高欄塗替工事
SKマイルドポーセイ、クリーンマイルドフッソST



東京国際展示場 改修工事
セラミ RC-FR 工法



野々市中央地区整備事業 文化交流拠点施設建設工事
SK タイカシート、SK タイカコート、その他 セラミクリート Si



むぎむぎcooking
ウッティスマイル IN

物に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

■ 海外実績



洞头中央公館 (中国)
ELEGANSTONE III



珠海红树湾 (中国)
SOFTSTAR, ACRISTAR21 MERCURY



SUMMER COURT (インド)
ELEGANSTONE SAGAN



Jesselton Residences Waterfront (マレーシア)
CERASKAKEN
COMPO SILICON W55
ACRISTAR FINE



NOBLE PLOENCHIT (タイ)
COMPO SILICON W55, VINYL SATIN, INTERMATT PLUS



中欧金色海岸 (中国)
ELEGANSTONE III



武汉中心 (中国)
CERATIGHCA No.2



KITEC (香港)
CLEAN MILD URETHANE



深圳香港中文大学 (中国)
SKK ベルアート HT



Eon Shenton (シンガポール)
CERASKAKEN
BIOFINE MATT
NTERMATT
LENALUCK
DECOLUX

4 5 6 7 8 9

4月 ▼新会長・新社長 就任



6月 ▼SKK住宅施工店会総会



6月 ▼SKK新製品発表会を実施



6月 ▼建築材料・住宅設備総合展 [KENTEN2017] 出展



5月 ▼建築再生展2017出展・表彰 (5月31日~6月2日)

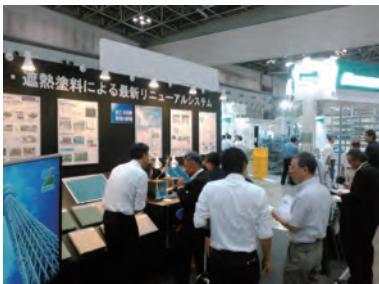


5月 ▼三重営業所移転

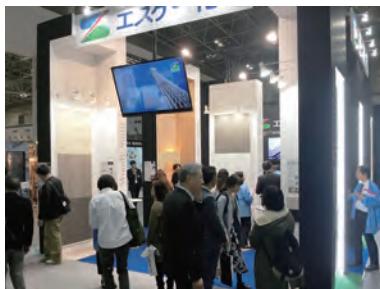


10 11 12 1 2 3

9月 ▼「フードファクトリー2017」出展



11月 ▼インテリアトレンドショー「JAPANTEX2017」出展



1月 ▼東京・大阪・名古屋にて新春交礼会開催



8月 ▼宇都宮営業所移転



[7月]

超耐候形一液NAD特殊シリコン樹脂塗料「エスケーププレミアムNADシリコン」開発
超耐候形二液NAD特殊シリコン樹脂屋根用塗料「エスケーププレミアムルーFSi」開発
高耐候性水性多彩模様塗料「水性グラニエレガンクween」開発

[8月]

超耐久・低汚染ふっ素樹脂系多意匠性裝飾仕上塗材「ベルアートF」開発

[9月]

撥水性超耐候形特殊シリコン変性樹脂塗料「セラミガードNEO」開発
超耐候形特殊シリコン樹脂多彩模様塗料「エスケーププレミアムマルチカラー」開発

[11月]

豪華自然石調仕上塗材「グラニースタック-Long」開発

[12月]

二液弱溶剤特殊変性エポキシ樹脂さび止め塗料「スーパーポーセイエボ」開発

[1月]

広範囲適用型水性特殊合成樹脂エマルジョン系サーフェーサー「水性ハイブリッドサーフ」開発

会社概要 (平成30年3月31日現在)

設 立 昭和33年4月17日

資 本 金 26億62百万円
連 結 純 資 産 1,037億27百万円

企 業 集 団 の 従 業 員 数 2,193名 (臨時従業員を除く)

事 業 内 容

- 建築仕上塗材事業
有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、
無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
- 耐火断熱材事業
断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
- その他の事業
各種化成品、洗浄剤等の製造販売

■ 役 員 (平成30年6月29日現在)

代表取締役会長	藤 井 實	取 締 役 長	澤 啓 三
代表取締役社長	藤 井 実 広	取 締 役	竹 内 正 博
専務取締役	坂 本 雅 英	取 締 役	片 岡 秀 人
取 締 役	藤 井 訓 広	常 勤 監 査 役	本 竜 坦 道
取 締 役	福 岡 透	監 査 役	古 越 浩 二
取 締 役	伊 藤 義 之	監 査 役	浜 名 正 二

■ 主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD. (シンガポール)

SKK (HK) CO.,LTD.(香港)

H.K.SHIKOKU CO.,LTD.(香港)

SIKOKUKAKEN(SHANGHAI)CO.,LTD. (中国上海)

SIKOKUKAKEN(LANGFANG)CO.,LTD. (中国廊坊)

SK KAKEN (M) SDN.BHD.(マレーシア)

SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD.(マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD.(マレーシア)

SK KAKEN(THAILAND)CO.,LTD.(タイ)

SKK CHEMICAL (THAILAND)CO.,LTD. (タイ)

SKK VIETNAM CO.,LTD.(ベトナム)

PT SKK KAKEN INDONESIA(インドネシア)

PT SKK KAKEN KONSTRUKSI(インドネシア)

PT SKK KAKEN DISTRIBUTUSI(インドネシア)



本社



SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN(SHANGHAI)CO.,LTD.



北京事務所／北京分公司



SKK (HK) CO.,LTD.



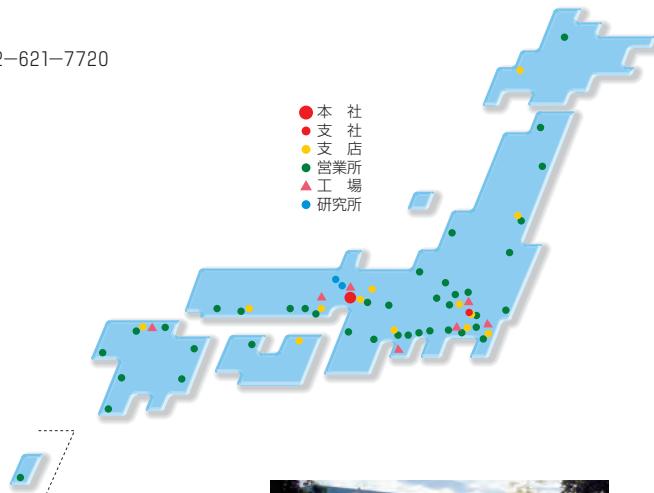
第一技術研究所



第二技術研究所

国内主要事業所 (平成30年6月29日現在)

本事業本部	社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25	TEL.072-621-7720
国際事業本部	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25	
東京支社	支社	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18	
札幌支店	支店	〒065-0042	札幌市東区本町二条10-2-39	
仙台支店	支店	〒983-0013	仙台市宮城野区中野1-5-12	
東京支店	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18	
千葉支店	支店	〒263-0003	千葉県稲毛区小深町122-1	
埼玉支店	支店	〒337-0051	さいたま市見沼区東大宮6-30-48	
横浜支店	支店	〒244-0801	横浜市戸塚区品濃町549-2	
名古屋支店	支店	〒451-0044	名古屋市西区菊井2-14-19	
京都支店	支店	〒612-8415	京都市伏見区竹田中島町263	
大阪支店	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31	
神戸支店	支店	〒652-0807	神戸市兵庫区浜崎通5-1	
広島支店	支店	〒731-5161	広島市佐伯区五日市港2-1-5	
高松支店	支店	〒761-8073	香川県高松市太田下町2585-3	
福岡支店	支店	〒813-0062	福岡市東区松島5-6-16	
大根工場	工場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1	
埼玉工場	工場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6	
神奈川工場	工場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30	
名古屋工場	工場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2	
大阪工場	工場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5	
兵庫工場	工場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40	
九州工場	工場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26	
第一技術研究所	研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10	
第二技術研究所	研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1	
SKKグローバルセンター	センター	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2	
他営業所全国50ヶ所				



九州工場



大阪工場



兵庫工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



SKK (S) PTE.LTD.



SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



SIKOKUKAKEN (LANGFANG) CO.,LTD.



大根工場



神奈川工場



埼玉工場



名古屋工場



株 主 メ モ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
公 告 方 法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<http://www.sk-kaken.co.jp/>